

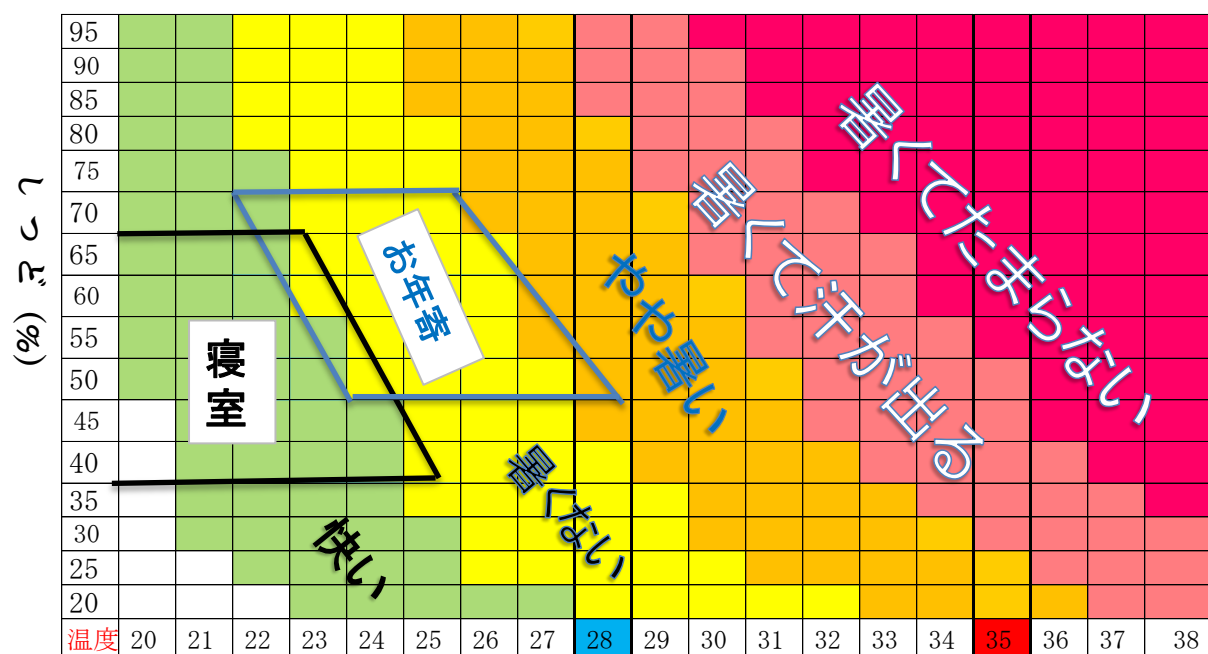
快い温湿度設定マップ (熱中症予防対策)

室温28度でも暑かったり、30度でも涼しく感じることがあった。
 部屋の快適さは、湿度も測定してエアコン温度設定をする。
 温度は20度から38度まで1度おきに、湿度は20%から5%間隔で計算した。
 結果はマップで表示し、温度と湿度を与えると即座に快適度が得られるようになった。
 このマップを印刷して温湿度計のそばに置いておくと熱中症、夏バテ防止に役立つものと思う。
 今後は温度計だけでなく湿度計も部屋の内外に置いて測定し、窓を閉めてエアコンを使うか、窓を開けて冷たい外気を導入するか決めることにする。

不快指数 $DI=0.81T+0.001H(0.99T-14.3)+46.3$

快適さは不快指数で表され、温度 (T) と湿度 (H) により計算できる。

60~65	何も感じない	65~70	快い	70~75	暑くない
75~80	やや暑い	80~85	暑くて汗が出る	85~	暑くてたまらない



- 35度以上の猛暑が予想されると**高温注意報**がでる。
- 気温28度でも湿度が85%以上では汗。お年寄りは熱中症になり易いので注意。
 「暑くて汗が出る」領域にあればエアコンで冷房すること。エアコンを入れると温度が下がると共に湿度も下がり素早く快適になる。

- ★省エネのためには、扇風機も有効。風速2mで2℃体感温度が下がる。湿度は下がらない。
 このため、扇風機を止めたら体感温度は即座に上がる。風速2mは早足の速度。
- ★湿度計は誤差が大きいことに注意。±5%ぐらい誤差がある。
- ★湿度計は感度がさまざまに10分計もあれば1時間かかるのもあり注意。